



2024年11月1日

各 位

会社名 B I P R O G Y株式会社
代表者名 代表取締役社長 齊藤 昇
(コード：8056、東証プライム)
問合せ先 広報部長 滝澤 素子
(TEL. 03-5546-4111)

従業員向けインセンティブ・プラン (RS 信託) の導入に伴う 第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式報酬として自己株式の処分（以下「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 処分の概要

(1) 処 分 期 日	2024年11月20日
(2) 処分する株式の種類 及 び 数	当社普通株式 102,900 株
(3) 処 分 価 額	1株につき 4,848 円
(4) 処 分 総 額	498,859,200 円
(5) 処 分 予 定 先	三井住友信託銀行株式会社（信託口） （再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口））
(6) そ の 他	本自己株式処分については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件といたします。

2. 処分の目的及び理由

当社は、2024年4月30日付取締役会において、人的資本に対する更なる投資として、従業員の経営方針に対する達成意欲の向上を図り、従業員のエンゲージメント向上に寄与し、当社グループの持続的成長と中長期的な企業価値向上につながることを目的として、当社の一部従業員（以下「従業員」といいます。）を対象とする信託を用いたインセンティブ・プランであるRS信託（以下「本制度」といいます。）の導入を決議いたしました。

本制度の概要につきましては、2024年4月30日付「従業員向けインセンティブ・プラン (RS 信託) の導入に関するお知らせ」をご参照ください。

本自己株式処分は、本制度導入のために設定される信託（以下「本信託」といいます。）の受託者である三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口））に

対して行うものであります。

処分数量につきましては、本制度導入に際し当社が制定する株式交付規程に基づき、信託期間中の従業員の職位及び構成推移等を勘案のうえ、従業員に交付すると見込まれる株式数に相当するものであり、その希薄化の規模は、2024年9月30日現在の発行済株式総数100,663,524株に対し、0.10%（2024年9月30日現在の総議決権個数980,907個に対する割合0.10%。いずれも、小数点以下第3位を四捨五入）となります。当社としましては、本制度は中長期的には当社の企業価値向上に繋がるものと考えており、本自己株式処分による処分数量及び希薄化の規模は合理的であり、流通市場への影響は軽微であると判断しております。

（ご参考）本信託に係る信託契約の概要

委託者	当社
受託者	三井住友信託銀行株式会社 （再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行）
受益者	従業員のうち受益者要件を満たす者
信託管理人	当社及び当社役員から独立した第三者を選定する予定
議決権行使	受託者は、信託管理人からの指図に基づき、信託期間を通じ議決権を行使しません。
信託の種類	金銭信託以外の金銭の信託（他益信託）
信託契約日	<u>2024年11月20日</u>
信託の期間	<u>2024年11月20日～2027年6月末日</u> （予定）
信託の目的	株式交付規程に基づき当社株式を受益者へ交付すること

（注）2024年4月30日付「従業員向けインセンティブ・プラン（RS信託）の導入に関するお知らせ」からの変更箇所に下線を付しております。

3. 処分価額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額につきましては、最近の株価推移に鑑み、恣意性を排除した価額とするため、2024年10月31日（取締役会決議日の直前営業日）の東京証券取引所における終値である4,848円といたしました。取締役会決議日の直前営業日の終値としたのは、取締役会決議日の直前の市場価値であり、算定根拠として客観性が高く合理的なものであると判断したためです。

当該価額については、取締役会決議日の直前営業日の直近1ヵ月間（2024年10月1日～2024年10月31日）の終値平均4,816円（円未満切捨て）からの乖離率が0.66%、直近3ヵ月間（2024年8月1日～2024年10月31日）の終値平均4,716円（円未満切捨て）からの乖離率が2.80%、あるいは直近6ヵ月間（2024年5月1日～2024年10月31日）の終値平均4,499円（円未満切捨て）からの乖離率が7.76%となっております（乖離率はいずれも小数点以下第3位を四捨五入）。

上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、処分予定先に特に有利なものとはいえ、合理的と考えております。

また、上記処分価額につきましては、取締役会に出席した監査役全員（5名、うち3名は社外監査役）が、処分価額の算定根拠は合理的なものであり、処分予定先に特に有利な処分価額には該当せず適法である旨の意見を表明しております。

4. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希薄化率が 25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第 432 条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

以 上